

CBC「性別役割描写のガイドライン」 CBC Guideline on Sex-Role Portrayal

CBCでは、報道における基準とその実務について詳細に公開している。その冒頭で、CBCは公共放送としての独自の立場を自覚して、「CBCはカナダでもっとも大規模かつ広域な報道機関であるだけでなく、カナダ市民によって資金提供されているため、すべての市民が信頼できる質の高い情報を継続的に提供する義務を負う」と明言している。

CBCの「報道の基準と実務」では、はじめに報道の自由と報道の責任についての記載があり、ついで「法的枠組み」、「報道方針の実務」、「指針」、「制作基準」、および「人事基準」の5章からなる。各章はさらに細かく分類整理され、広範にわたる内容が網羅されている。

今回取り上げる「性別役割描写のガイドライン」は、1993年9月にまとめられ、この5章のあとに続く別添の「関連するCBCの指針」7項目のうちの4番目に掲載されている。

4.1 原則

CBCは女性と男性の平等を認識している。

4.2 目的

このガイドラインの目的は、CBCの局やネットワークで放送される番組およびCMの中で、子どもを含むすべての人が公平に表現され描写されるよう保障することである。

4.3 適用

このガイドラインはCBCによって制作または共同制作された番組のすべて、またCBCが自社の局やネットワークで放送するために購入する番組および広告のすべてに適用される。

4.4 管理運営

メディア部長、地域部長、および広告基準課長は、このガイドラインを実践する責任を負う。ガイドラインからの逸脱やその対応については、番組上の公平表現局の責任者であるメディア部上級副社長、あるいは広告基準の責任を負う企画および規律問題担当の副社長に報告しなければならない。

4.5 解釈

ガイドラインは「人権と自由に関するカナダ憲章」(Canadian Charter of Rights and Freedoms) および放送法に沿って一貫した態度で解釈されなければならない。また、ガイドラインの解釈は CBC の報道および創造的な番組編成上の独立、または、そのジャーナリズム指針や実践と対立してはならない。

4.6 ガイドライン

番組および CM のすべてにおいて CBC は以下を実行しなければならない。

4.6.1 実在

現代カナダ社会における女性と男性の位置を現実的な方法で反映させ、彼らの知性および感情における平等を認識する

4.6.2 多様性

年齢層、外見、意見および関心において多様な女性と男性を、非伝統的なものを含むさまざまな役割と責任のもとに登場させる。

4.6.3 ステレオタイプ

弁解のできないステレオタイプや不必要なステレオタイプを禁止する。(番組政策 2 を参照のこと)

4.6.4 役割

4.6.4.1

広範囲の環境、活動、状況設定のもとで、女性を、男性も同様に、職業、専門性、権威、技能を有している人として描写する。

4.6.4.2

女性と男性を仕事や責任を分かち合う平等なパートナーとして、また製品やサービスの平等な受益者として描く。

4.6.5 バランス

4.6.5.1

ジャーナリスティックな番組においては、すべての社会的な問題について女性の意見を、男性の意見も同様に、求める。

4.6.5.2

ナレーションでは女性と男性の声を使用する際に均衡を図る。

4.6.6 セクシュアリティ

服装、明示的または暗示的な身振り、カメラワーク、風刺または二重の意味を持つあいまいな語句などによって、個人を性的なおとり (ルアー) として不当に利用することを避ける。

不当な利用とは、オーディエンスに製品を販売し、あるいはオーディエンス

に訴求するために、人間の身体またはその一部を、弁解の余地なく、あるいは不必要に、露出することである。

上品で肯定的で当面の話題に関係するセクシュアリティの放送上の表現は、人物が自身のセクシュアリティを制御し、賛美している場合で、番組の提示の仕方と違和感なく結びついている場合は、適切である。

4.6.7 用語

男女の平等の原則を尊重する用語を使用することを徹底する。

この点で、CBCは次のガイドラインを遵守しなければならない。

4.6.7.1 番組政策の適用—番組における女性の描写

カナダ社会で変化しつつある態度、なかでも話し言葉の変化をよりよく反映させることを徹底するために、CBCはオンエアされる人物について以下のガイドラインを設けている。

(a) 男性と女性の両方に対して包括的な用語を使用する。

例： ファイアマンではなくファイアファイター、スチュワードやスチュワードレスではなくフライトアテンダント、男性のナースではなく単にナース、女性エンジニアではなく単にエンジニアを使う。

(b) 男性と女性について社会的文脈や職業との関連で言及するときには、彼らを平等な立場に置く。

例： ミスター・スミスとメアリー・ジョーンズまたはメアリーではなく、ジョン・スミスとメアリー・ジョーンズ、またはミスター・スミスとミズ／ミセス／ミス・ジョーンズを使う。

(c) 女性について説明するときには、他の人との関係によってではなく、女性自身の権利に基づいて言及する。

例： … と結婚しているメアリー・スミスではなく、作家のメアリー・スミスという。

(d) 男性と女性に言及するときには、対等の用語を使用する。

例： Men と Ladies あるいは Men と Girls ではなく、Men と Women、または Ladies と Gentlemen を使う。

(e) 上位者ぶった用語を避ける。

例： リトルレディまたはベターハーフではなく、妻または配偶者を、女性解放運動家ではなく、フェミニストを使う。

(f) どちらの性も排除しない用語を使用する。

例： チェアマンではなく、チェアまたはチェアパーソン、マンカインドではなくヒューマニティ、メンズ・アチーブメントではなく、ヒューマン・アチーブメント、を使う。

(g) どちらかの性別を連想させることを避けるために、複数形または中立的な用語を使用する。

例： 「Doctor bills his patients」ではなく、「Doctors bill their patients」、「A man likes his comfort」ではなく、「People like their comfort」を使う。

4.6.7.2 用語ガイドライン

CBC 言語サービス (Linguistic Services) では、性差別を反映する可能性のある用語の代替の例として以下のリストを作成している。

男性または女性 MASCULINE or FEMININE	中立的用語 NEUTRAL
アンカーマン	アンカー
ビジネスマン	ビジネスパーソン、エグゼクティブ
ビジネスマン	ビジネスコミュニティ、 ビジネス界の人びと
カメラマン	カメラオペレーター
クリーニングレディ/ウーマン	クリーナー、ハウスキーパー
クラフトマン	クラフトピープル/クラフトパーソン
デリバリーボーイ	メッセンジャー
ドラフトマン	ドラフティングテクニシャン/ドラフター
ファイアマン	ファイアファイター
紳士協定	名誉協定
ハウスイフ	ホームメーカー
レディドクター	ドクター
メイド	ハウスワーカー、ハウスキーパー
メールマン	メールキャリア、レターキャリア
マン・アワー	パーソン・アワー、ワーク・アワー、 レイバー・アワー
マンパワー	ワークフォース
ニュースマン	レポーター、ジャーナリスト
ポリスマン	ポリスオフィサー
セールスマン	セールスクラーク、 セールスリプレゼンタティブ
スチュワーデス	フライトアテンダント
セキュリティガード	ウオッチマン
スポークスマン	リプレゼンタティブ、スポークスパーソン
ウエイトレス	サーバー
ワークマンズ・コンペンセーション	ワーカーズ・コンペンセーション

むろん、個々人の要望にしたがって呼称を用いるのが礼儀である。したがって、もしある女性が役員会のチェアパーソンではなく、チェアマンとして知られることを好んでいる場合には、彼女の要望が優先される。

(訳責：折茂あや／鈴木みどり)

—『fctGAZETTE』No. 85(2005年3月)掲載—